

# ホテルニューオータニ 日本庭園 枯山水 ライトアップ



所在地：東京都千代田区紀尾井町4-1  
 施主：㈱ニューオータニ  
 照明設計：㈱石井幹子デザイン事務所  
 電気工事：エヌアールイーハビネス㈱、㈱関電工  
 改修完了：平成26年9月

S297

東京の名園のひとつに数えられるホテルニューオータニの日本庭園が、LED照明によるライトアップをスタート。四季折々の風情豊かな「光のおもてなし」を演出しています。

加藤清正公の下屋敷から、井伊家中屋敷、伏見宮邸を経て現代に続く名園

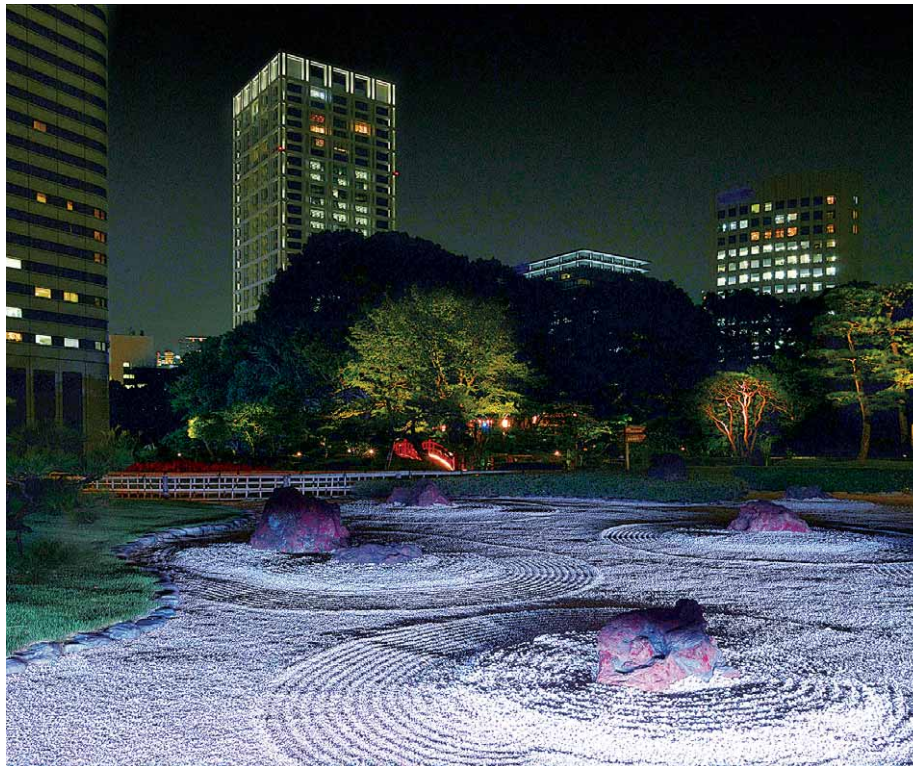
ホテルニューオータニの日本庭園は、400年以上もの長い歴史を持つ名園です。約4万㎡の広大な庭園内には、加藤清正公の下屋敷時代から残る石灯籠や樹木のほか、大小の滝や名石、枯山水なども設けられ、豊かな日本情緒を現代に伝えています。この風情ある日本庭園のライトアップは、開業50周年を記念したもので、日本の照明デザインの第一人者、石井幹子氏の監修により行われました。光源にLED照明を使用することにより消費電力の削減と、四季折々の「光のおもてなし」を演出しています。

LEDデジタルカラーライティングシステムにより枯山水をライトアップ

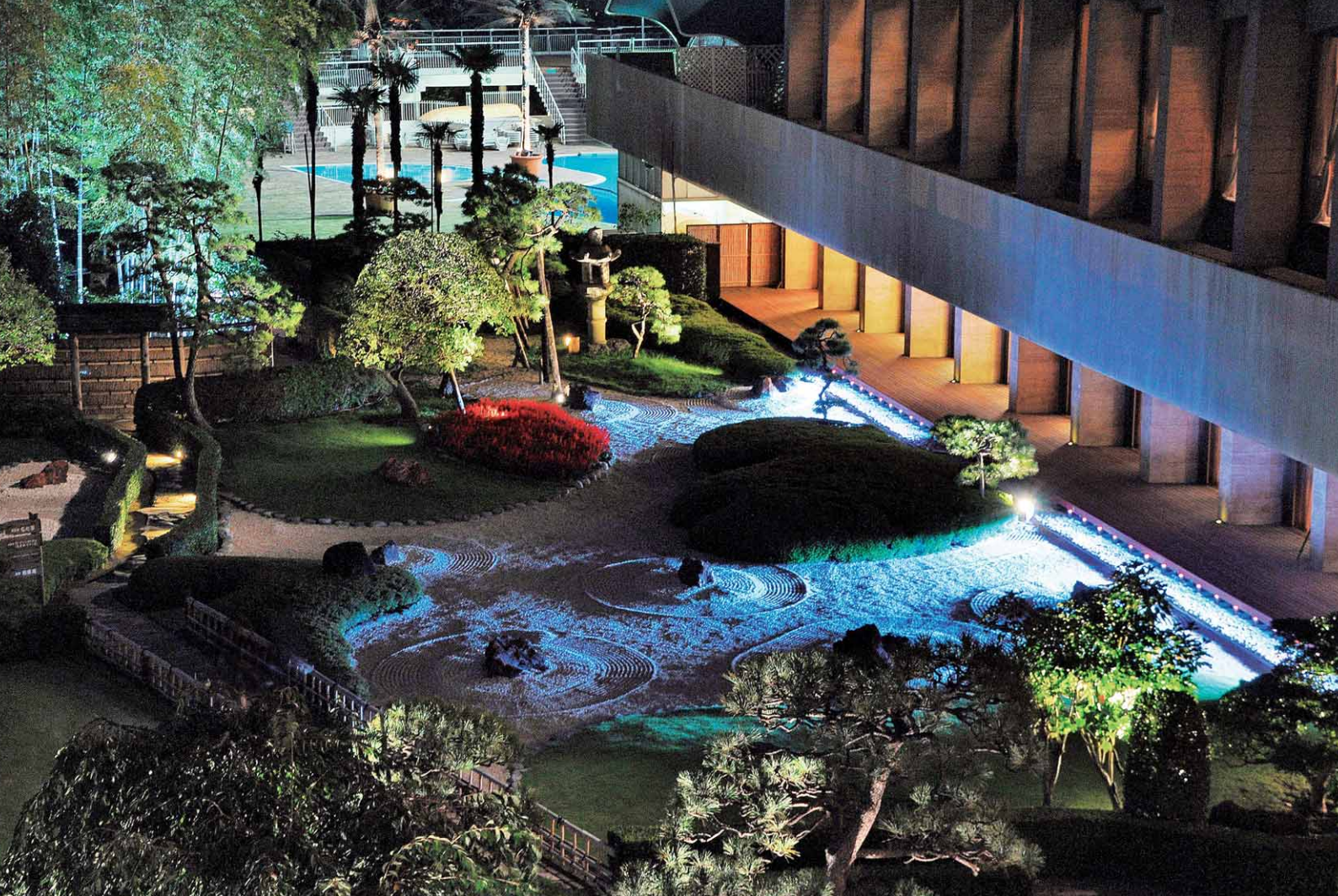
ザ・メイン1階に位置するバンケットルーム「パラッツォ オータニ」から望む枯山水と、向かって右手奥に位置する「なだ万本店 山水花荘」の竹林のライトアップにはLEDデジタルカラーライティングシステム（ルミライナーD）を用いたライトアップを行っています。RGBのLEDをワンパッケージとし、これらを混色することでフルカラー演出を可能とし、合計8つのプログラムシーンを組み込んでいます。通常点灯として再生される「基本色」：白色点灯シーンはスケジュール制御によって季節ごとに再生時間が管理されており、季節やイベント用にプログラムした7種類の演出シーンは手動制御としています。これらの演出シーンには、「春」「夏」「秋」「冬」のほか色彩豊かな「クリスマス」「正月」、レインボーカラーの「祝祭」モードも備え、季節ごとに変化する日本庭園の表情に見合った彩りを添えています。これらの照明を演出するLEDライン形デジタルライト（消費電力40W）は、器具を見たときに生じるグレアや、RGBそれぞれの光源の存在感を感じさせないような配慮を施し（遮光板を取付）、枯山水脇のウッドデッキ下に設置。低位置から白石面を舐めるように水平照射することで細かな陰影まで浮かび上がらせています。枯山水内の樹木は電球色のLEDスポットライト（消費電力14W）を設置し、なだ万本店内の竹林には、LEDデジタル投光器（消費電力50W）を配置することで背景となる竹林に高く色彩を与え、奥行感と立体感のあるライティングに仕上げています。



LEDライン形デジタルライトを設置したウッドデッキと、これに照らされた枯山水と、LEDデジタル投光器で高くライトアップされた竹林により、奥行感と立体感の照明演出を施した日本庭園



「パラッツォ オータニ」の窓の外に広がる枯山水の風景。シーンは白色の「基本色」



上空から見た枯山水。シーンは白色の「基本色」



シーン演出「秋」。薄朱色→オレンジへ、枯山水の色が緩やかに変化



シーン演出「クリスマス」。枯山水全体の色が、赤→白→緑へゆっくりと変化。竹林はゴールド



シーン演出「正月」。枯山水全体の色が、朱赤→白→黄→緑→紫へゆっくりと変化。竹林は白色



ウッドデッキの下にライン配置したLEDライン形デジタルライト



樹木を照らすLEDスポットライト。景観に配慮し囲いを設置



バンケットホール内に設置されたスイッチ。管理するお施主様がワンボタンで簡単に手動操作できるように配慮

主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	備考
枯山水	LEDライン形デジタルライト	TCGZP-MX-2N-01Z	26	フルカラー-LED 消費電力:40W
樹木	LEDスポットライト	LEDS-01801LM-LS9	10	LED 消費電力:14W(100V)
竹林(なだ万敷地内)	LEDデジタル投光器	TBLP-004-WHZ	5	フルカラー-LED 消費電力:50W